



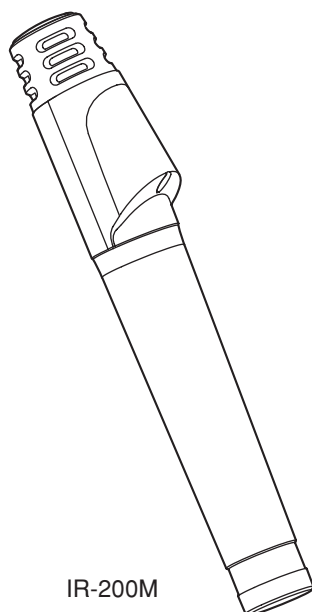
取扱説明書

赤外線マイク ハンド型

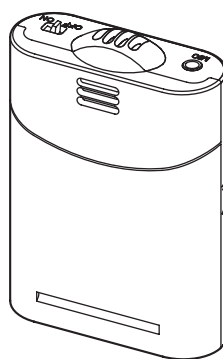
IR-200M

赤外線マイク ハンズフリー型

IR-300M



IR-200M



IR-300M

このたびは、TOA 赤外線マイクをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目次

安全上のご注意	3
ニッケル水素電池のリサイクルについて	4
概 要	4
特 長	4
使用上のご注意	4
各部の名称とはたらき	
IR-200M	5
IR-300M	6
電池の入れかた	7
充電式として使用するとき	
充電のしかた	8
充電時期	8
乾電池を使用するとき	9
操作のしかた	9
赤外線マイクの上手な使いかた	
マイクを持つとき・首に掛けるとき	10
マイクと口元の距離	10
チャンネルの設定のしかた	11
パワー切換スイッチについて	12
マイクレベル調節ボリュームについて（IR-300Mのみ）	12
外観寸法図	
IR-200M	13
IR-300M	13
故障かな？と思ったら	14
仕 様	15
付属品	15
別売品	15

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

充電するときは、当社の充電器 IR-200BC を使用する

本機は、赤外線マイク専用の充電電池が使用できます。

指定以外の充電器を使用すると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲汚損の原因となります。



強制

3時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる

そのまま続けて充電をすると、発火・破裂・漏液・発熱の原因となります。



強制

充電端子部をショートしない

充電端子部を金属などでショートしないでください。

感電・やけどの原因となります。



禁止

医療機器の近くで使用しない

電磁波で医療機器に影響を与えることがあります。

本機の電源を必ず切ってください。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電池の液もれに注意する

2週間以上使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

電池から液がもれて、火災・けが・周囲汚損の原因となることがあります。



強制

電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。

守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- 充電電池は、赤外線マイク専用の IR-200BT を使用する。
- 新しい電池と古い電池、種類の違う電池、または充電した電池と放電した電池を混ぜて使用しない。
- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れたりしない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- (＋) と (－) に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強制

ニッケル水素電池のリサイクルについて



Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください

本機には、ニッケル水素電池（赤外線マイク専用品）が使用できます。

ニッケル水素電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

ニッケル水素電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

使用済みの電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却してください。

概 要

高感度で明瞭な音質の単一指向性エレクトレットコンデンサーマイクユニットを使用したスピーチ用赤外線マイクです。IR-200M はハンド型、IR-300M はハンズフリー型です。

特 長

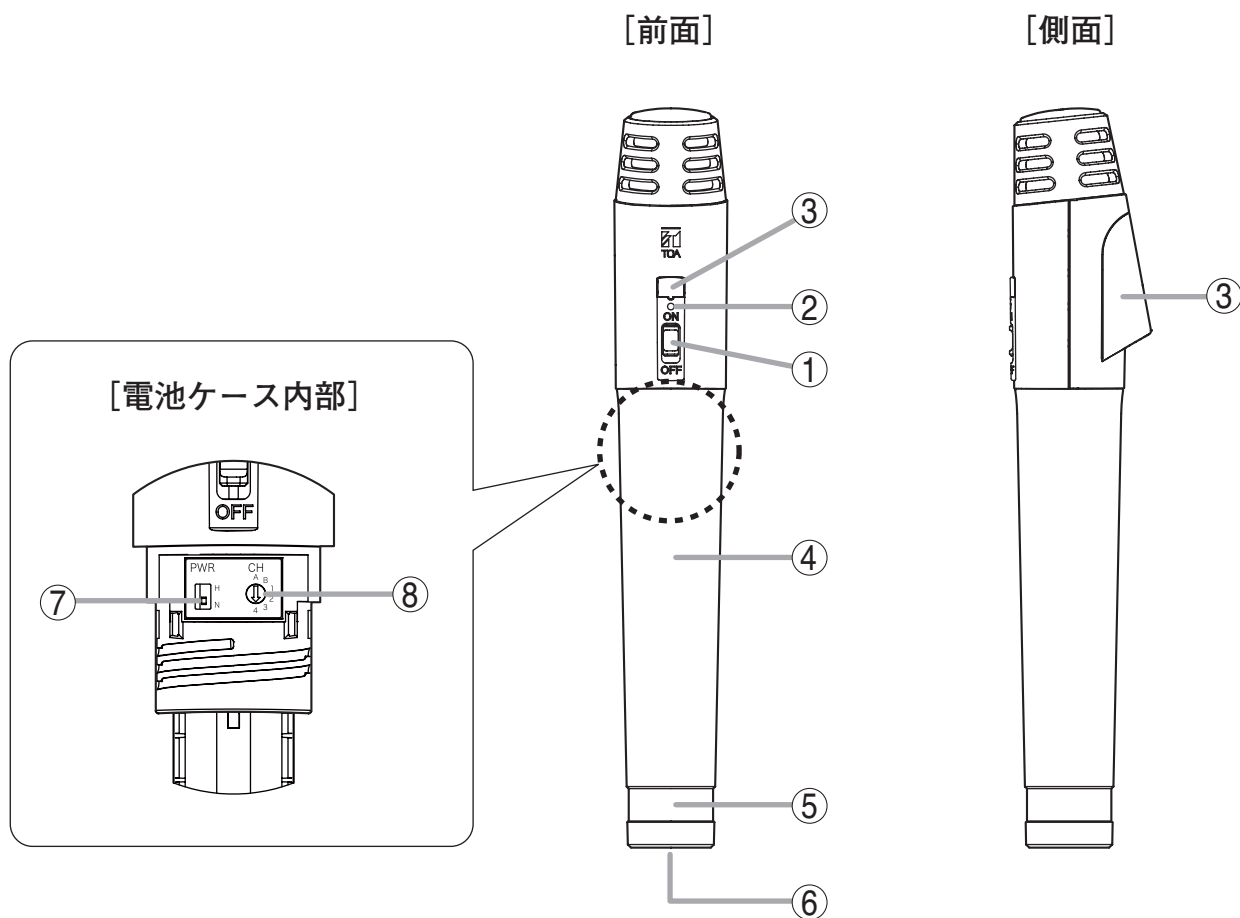
- PLL シンセサイザー方式を採用しており、6 波の周波数を設定できます。
- 電源は、専用の充電電池（ニッケル水素電池）2 本または単 3 形アルカリ乾電池 2 本が使用できます。
 - ※ 充電電池は、本機専用の IR-200BT（別売の充電器 IR-200BC に付属）または別売の IR-200BT-2（2 本入り）を使用してください。
 - ※ 使用電池は、持続時間が長く、環境にも優しい本機専用の充電電池 IR-200BT をおすすめします。
- IR-300M は外部マイク入力端子を備えており、タイピン型マイクロホン YP-M101 やヘッドセットマイクロホン YP-M301 と組み合わせて使用することができます。
- 赤外線方式を採用していますので混信や盗聴の心配がなく、隣接した教室や会議室でも同時に使用できます。
- 互いに干渉しない周波数帯を使用していますので、赤外線会議システム（TS-800/900 シリーズ）との併設が可能です。
- 本体は抗菌処理を施しています。

使用上のご注意

- 赤外線マイクの発光部を手で覆ったり、衣服の内側に入れたりして隠さないようにしてください。発光部を覆うと、送信ができなくなります。
- 赤外線マイクを使用している近くで、プラズマディスプレイや赤外線 LAN などの赤外線発生源を使用しないでください。ノイズや動作不良などの原因となります。
- 分解や改造はしないでください。
- 床に落としたり、硬い物に当たったりしないでください。故障の原因となります。
- 屋外や太陽光が当たる場所では使用できません。
- 夏の閉めきった車内のような温度の高い所や、湿度の高い所に置かないでください。故障の原因となります。
- 汗や海水のかかる所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

各部の名称とはたらき

IR-200M



1. 電源スイッチ [ON/OFF]

マイクの電源をON/OFFします。

2. バッテリーチェッカー

電源スイッチ (1) をONにすると点灯します。
電池が消耗していないときは、緑色に点灯します。
電池が消耗してくると、赤色にゆっくりと変化していきます。

3. 赤外線発光部

通信用赤外線の発光部です。

4. 電池ケース

内部に電池収納部があります。
ケースの開閉は確実に行ってください。
(Ⅱ P. 7 「電池の入れかた」)

5. カラーマーク貼り付け部

付属のカラーマークを貼り付けることにより、ワイヤレスマイクを区別することができます。

6. 充電端子部

(Ⅱ P. 8 「充電のしかた」)

7. パワー切替スイッチ [PWR]

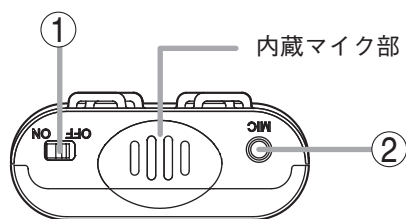
通信用赤外線光のパワーを切り換えます。
(Ⅱ P. 12 「パワー切替スイッチについて」)

8. チャンネルスイッチ [CH]

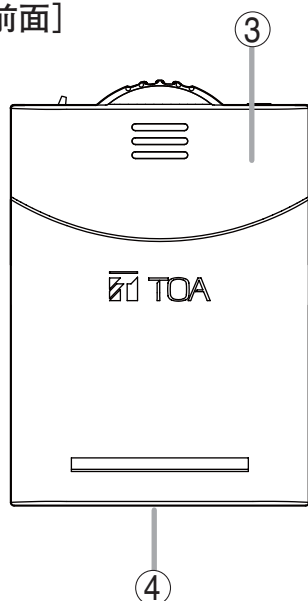
受信するチューナーのチャンネルに設定します。
(Ⅱ P. 11 「チャンネルの設定のしかた」)

IR-300M

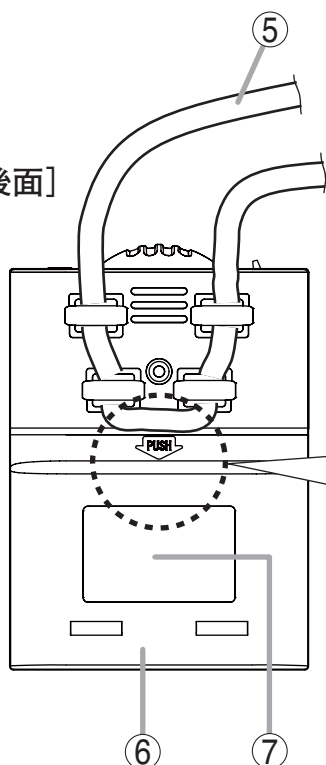
[上面]



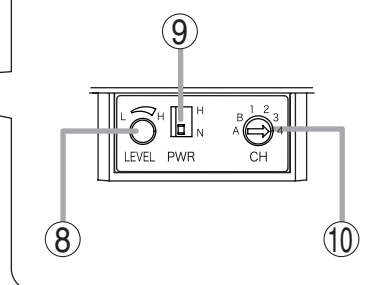
[前面]



[後面]



[電池カバー内部]



1. 電源スイッチ/バッテリーチェッカー [ON/OFF]

マイクの電源をON/OFFします。
電源スイッチをONにすると点灯し、バッテリーの残量の目安としても使用できます。
電池が消耗していないときは、緑色に点灯します。
電池が消耗してくると、赤色にゆっくりと変化していきます。

2. 外部マイク入力端子

ヘッドセットマイクなど、外部マイクを使用するときに接続します。

3. 赤外線発光部

通信用赤外線の発光部です。

4. 充電端子部

(Ⅱ P. 8 「充電のしかた」)

5. ネックストラップ

首に掛けて使用します。
(Ⅱ P. 10 「赤外線マイクの上手な使いかた」)

6. 電池カバー

内部に電池収納部があります。
ケースの開閉は確実に行ってください。
(Ⅱ P. 7 「電池の入れかた」)

7. カラーマーク貼り付け部

付属のカラーマークを貼り付けることにより、ワイヤレスマイクを区別することができます。

8. マイクレベル調節ボリューム [LEVEL]

外部マイクを使用するときに、入力レベルを調節します。
(Ⅱ P. 12 「マイクレベル調節ボリュームについて」)

9. パワー切換スイッチ [PWR]

通信用赤外線光のパワーを切り換えます。
(Ⅱ P. 12 「パワー切換スイッチについて」)

10. チャンネルスイッチ [CH]

受信するチューナーのチャンネルに設定します。
(Ⅱ P. 11 「チャンネルの設定のしかた」)

電池の入れかた



ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください

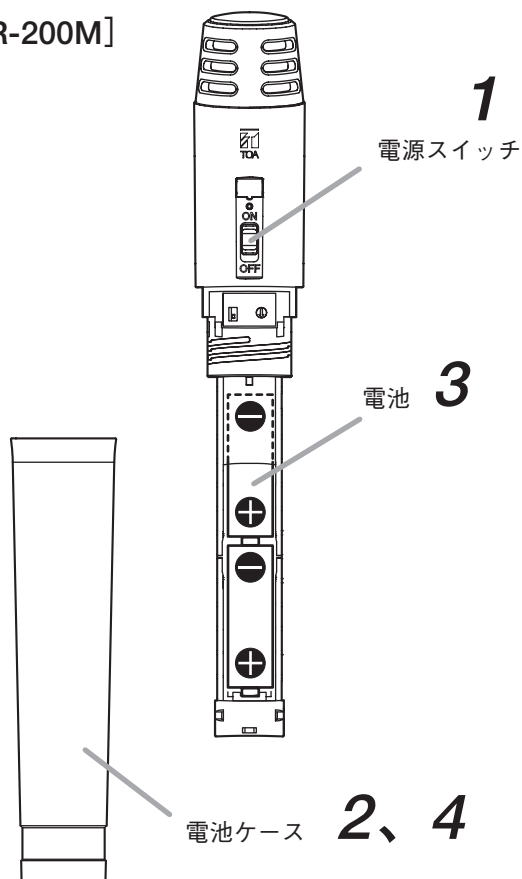
本機には、ニッケル水素電池（赤外線マイク専用品）が使用できます。

ニッケル水素電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

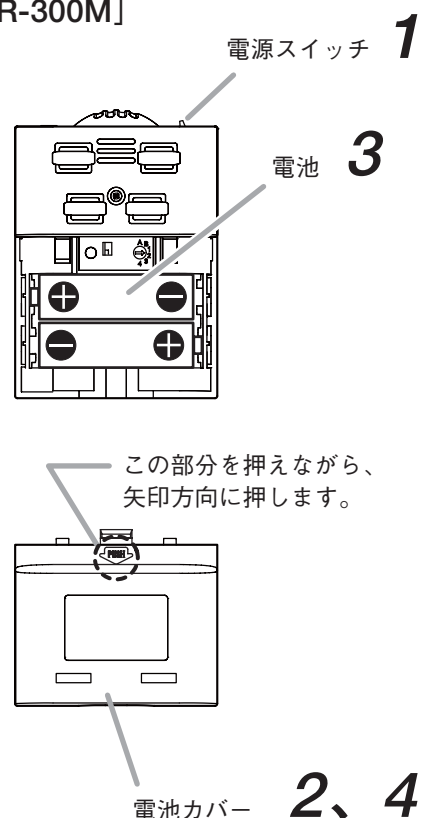
ニッケル水素電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

使用済みの電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却してください。

[IR-200M]



[IR-300M]



- 1** 電源スイッチを OFF にする。
- 2** 電池ケース (IR-200M) / 電池カバー (IR-300M) を外す。
[IR-200M]
電池ケースを左方向へ回します。
[IR-300M]
電池カバーを押えながら、矢印方向へ押します。
- 3** 電池収納部の (+) と (-) の表示に合わせて、本機専用の充電電池 (別売品) または単 3 形アルカリ乾電池 (付属品) を 2 本入れる。
充電電池は、本機専用の IR-200BT (別売の充電器 IR-200BC に付属) または別売の IR-200BT-2 (2 本入り) を使用してください。
- 4** 電池ケース (IR-200M) / 電池カバー (IR-300M) を元どおりにしっかりと締める。

充電式として使用するとき

⚠ 注意 専用の充電電池（IR-200BT）以外の電池を入れて充電しないでください。
指定以外の電池を充電すると、破裂により火災・けがの原因となることがあります。

ご注意

- 充電式として使用するときは、赤外線マイク用充電器 IR-200BC（別売品）が必要です。
- 充電電池は、必ず IR-200BC に付属の赤外線マイク用充電電池（IR-200BT）または別売の赤外線マイク用充電電池 IR-200BT-2 を使用してください。他の充電電池を使用しないでください。

■ 充電のしかた

1 赤外線マイクの電源スイッチを OFF にする。

ご注意

充電するときは、必ず赤外線マイクの電源スイッチを切ってください。
電源スイッチを入れたままでは正しく充電されません。

2 赤外線マイク用充電電池 IR-200BT（2 本）を赤外線マイク本体に入れる。

（P. 7「電池の入れかた」）

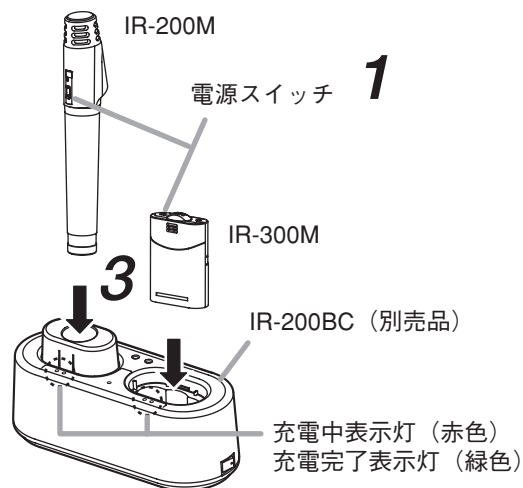
3 赤外線マイクを充電器 IR-200BC の赤外線マイク差し込み口に、奥までしっかりと挿入する。

IR-200BC の充電中表示灯（赤色）が点灯し、充電が開始されます。
約 3 時間で充電が完了し、IR-200BC の充電完了表示灯（緑色）が点灯します。
※ IR-200M を充電する場合は、アタッチメント（充電器に付属）を取り付けてください。

ご注意

- 赤外線マイクを充電器に入れても充電中表示灯（赤色）が点灯しないときは、赤外線マイクがしっかりと正しく差し込まれているか確認してください。
- 充電完了後はマイク本体が温かくなりますが、異常ではありません。

※ 詳しくは、赤外線マイク用充電器 IR-200BC に付属の取扱説明書をお読みください。



■ 充電時期

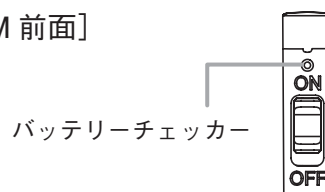
放電が進むと、バッテリーチェッカーが緑色から赤色にゆっくりと変化していきます。
使用中に赤色が点灯したら、すぐに充電を行ってください。
※ 赤色が点灯し始めたら、数分で使用できなくなります。

[充電電池の使用時間の目安]

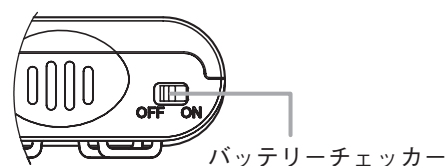
パワー切換スイッチ*の位置	連続使用時間
H	約 5 時間
N	約 8 時間

* P. 12「パワー切換スイッチについて」を参照

[IR-200M 前面]



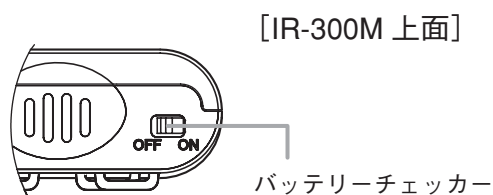
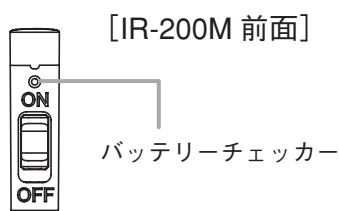
[IR-300M 上面]



ご注意

- 赤外線マイク用充電電池を初めて使用するときや、長期間使用していなかったときには、使用前に必ず充電を行ってください。
- 赤外線マイク用充電電池 IR-200BT の充放電回数は、約 500 回です。長期間の使用で赤外線マイクの使用時間が短くなったときは、新しい IR-200BT と交換してください。

乾電池を使用するとき



バッテリーチェッカーは、電池が消耗していないときは緑色が点灯し、消耗してくると赤色にゆっくりと変化していきます。赤色が点灯したら、新しい電池と交換してください。

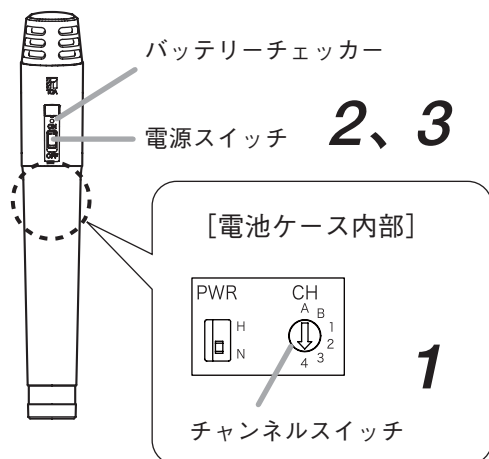
[アルカリ乾電池（LR6）の使用時間の目安]

パワー切換スイッチ*の位置	連続使用時間
H	約4時間
N	約6時間

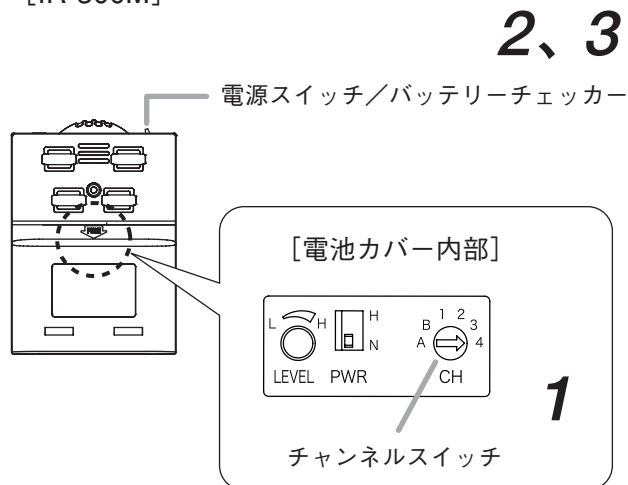
* P. 12 「パワー切換スイッチについて」を参照

操作のしかた

[IR-200M]



[IR-300M]



1 赤外線マイクが赤外線チューナーのチャンネルと同じチャンネルに設定されていることを確認する。

(P. 11 「チャンネルの設定のしかた」)

2 赤外線マイクの電源スイッチを ON にする。

このとき、バッテリーチェッカーの緑色が点灯していることを確認してください。

3 使い終わったら、赤外線マイクの電源スイッチを OFF にする。

赤外線マイクの上手な使いかた

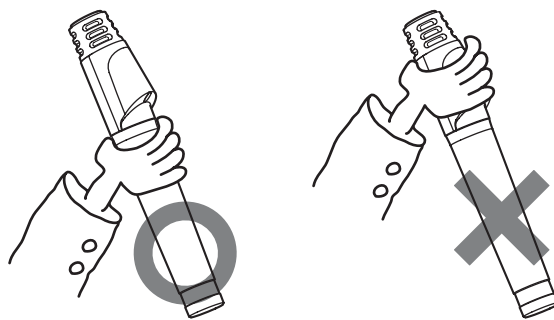
■ マイクを持つとき・首に掛けるとき

ご注意

赤外線マイクの発光部を手で覆ったり、衣服の内側に入れたりして隠さないようにしてください。発光部を覆うと、送信ができなくなります。

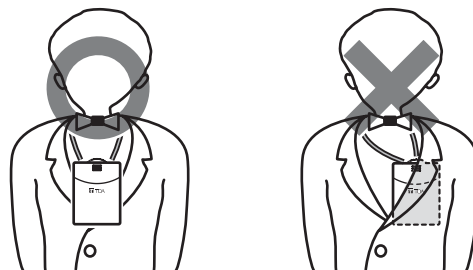
[ハンド型マイクの場合]

電源スイッチを身体側にして、赤外線発光部が正面に向くように持ってください。



[ハンズフリー型マイクの場合]

赤外線発光部が正面に向くようにして、ストラップを首に掛けてください。



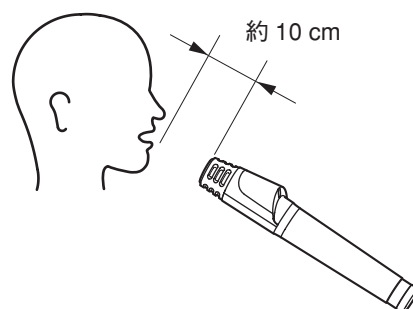
■ マイクと口元の距離

ご注意

マイク部を口元に近づけ（約 10 cm 以内）大声で話さないでください。音がにごって聞き苦しくなります。

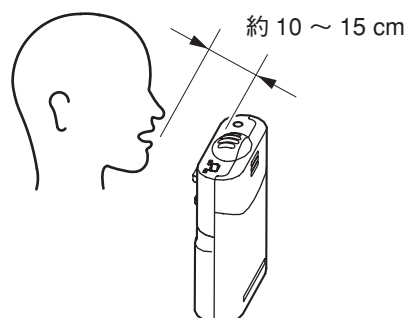
[ハンド型マイクの場合]

マイク部は口元から約 10 cm 離れた位置で使用してください。



[ハンズフリー型マイクの場合]

内蔵マイク部は口元から約 10 ～ 15cm 離れた位置になるように、ストラップの長さを調節してください。

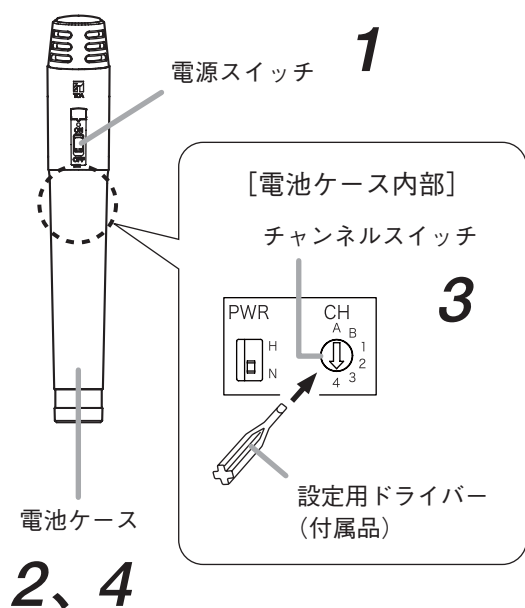


チャンネルの設定のしかた

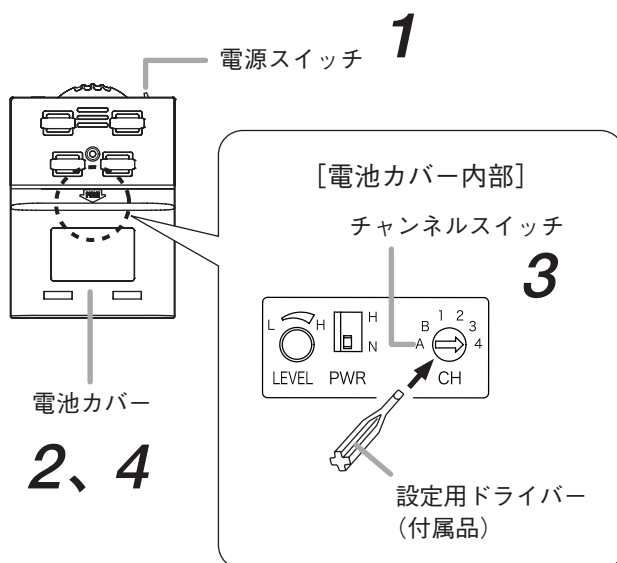
ご注意

- 赤外線マイクは、必ず赤外線チューナーと同じチャンネルに設定してください。
設定がマイクとチューナーで異なると送信できません。
- チャンネルスイッチの矢印が、表示のない位置や番号と番号の間など確実な設定がされていないときは、バッテリーチェッカーが緑色と赤色に交互に点滅して異常を知らせます。
チャンネルスイッチの位置を確認して、正しく設定してください。

[IR-200M]



[IR-300M]



1 電源スイッチを OFF にする。

ご注意

電源を入れたままチャンネルを設定しても送信周波数は変わりません。

2 電池ケース (IR-200M) / 電池カバー (IR-300M) を外す。

[IR-200M]

電池ケースを左方向へ回します。

[IR-300M]

電池カバーを押えながら、矢印方向へ押します。

3 チャンネルスイッチの矢印を設定したいチャンネルに合わせる。

付属の設定用ドライバーで、チャンネルスイッチを回します。

チャンネルは A、B、1、2、3、4の中から選択します。

4 電池ケース (IR-200M) / 電池カバー (IR-300M) を元どおりにしっかりと締める。

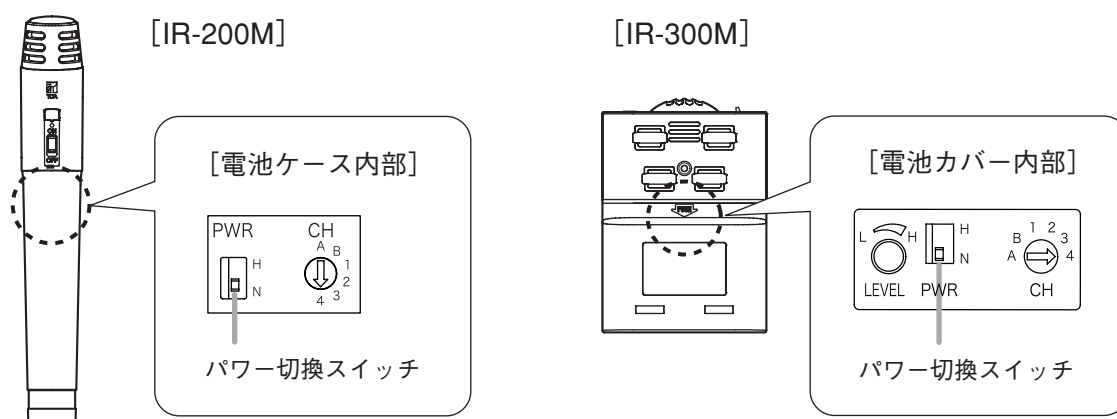
パワー切換スイッチについて

送信出力は、Normal（パワー切換スイッチ：N）と High（パワー切換スイッチ：H）の2段階に切り換えられます。連続使用時間*¹（電池寿命）や使用条件*²に合わせて設定してください。

※ お買い上げ時は「N」に設定されています。

*¹ パワー切換スイッチの設定による連続使用時間については、P. 8「充電電池の使用時間の目安」または P. 9「アルカリ乾電池（LR6）の使用時間の目安」の表を参照してください。

*² ・連続使用時間を長くしたいときは、「N」に設定してください。
・長い通達距離が必要な場合は、「H」に設定してください。

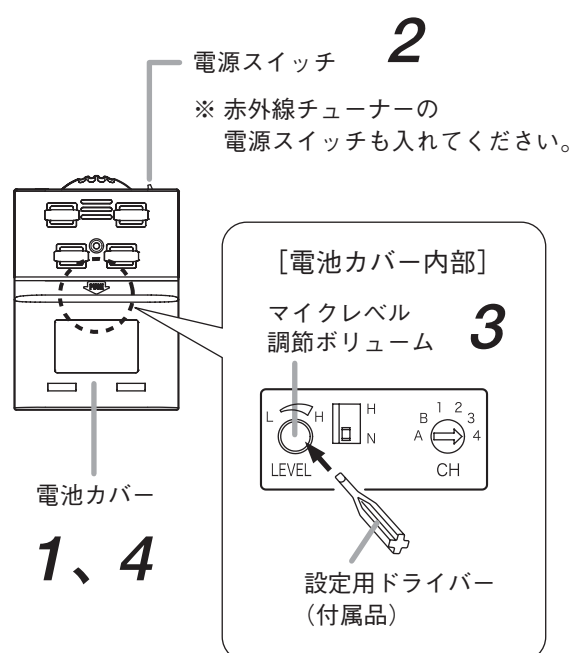


マイクレベル調節ボリュームについて（IR-300Mのみ）

外部マイクを使用する場合、接続されているマイクによって感度が異なるため、適切な位置に調節します。

※ お買い上げ時は、内蔵マイクを使用するのに適切な位置に設定されています。

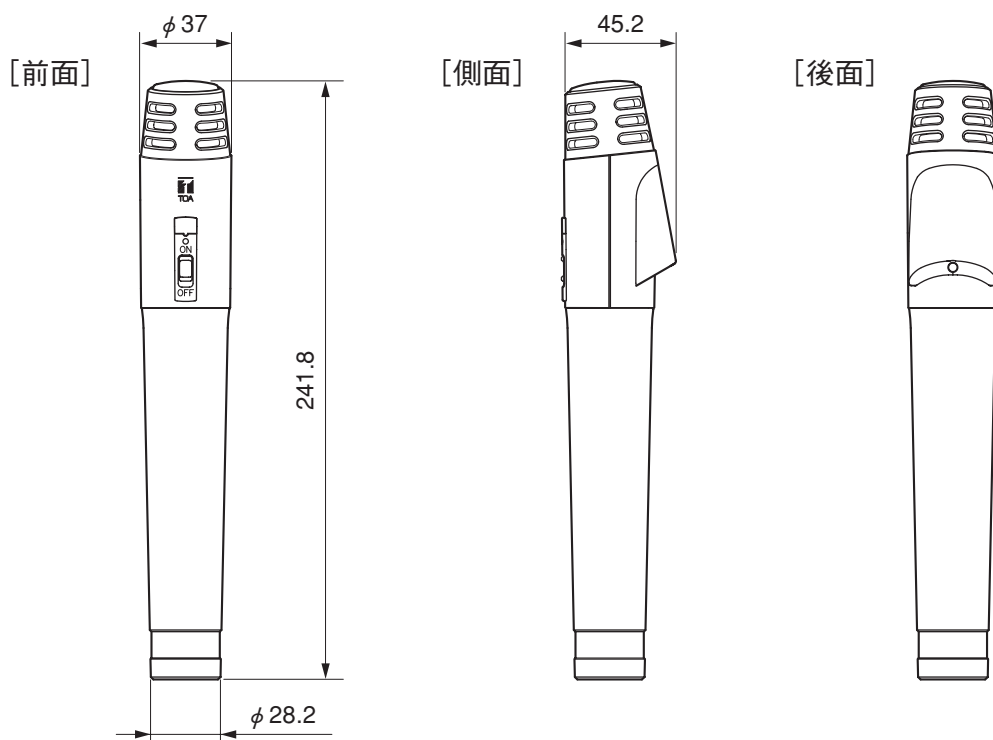
- 1 電池カバーを開ける。
- 2 赤外線マイクと赤外線チューナーの電源スイッチをONにする。
- 3 マイレベル調節ボリュームを適切な位置に調節する。
付属の設定用ドライバーで、音が歪まない、ハウリングを起こさない位置に設定してください。
- 4 電池カバーを元どおりに閉める。



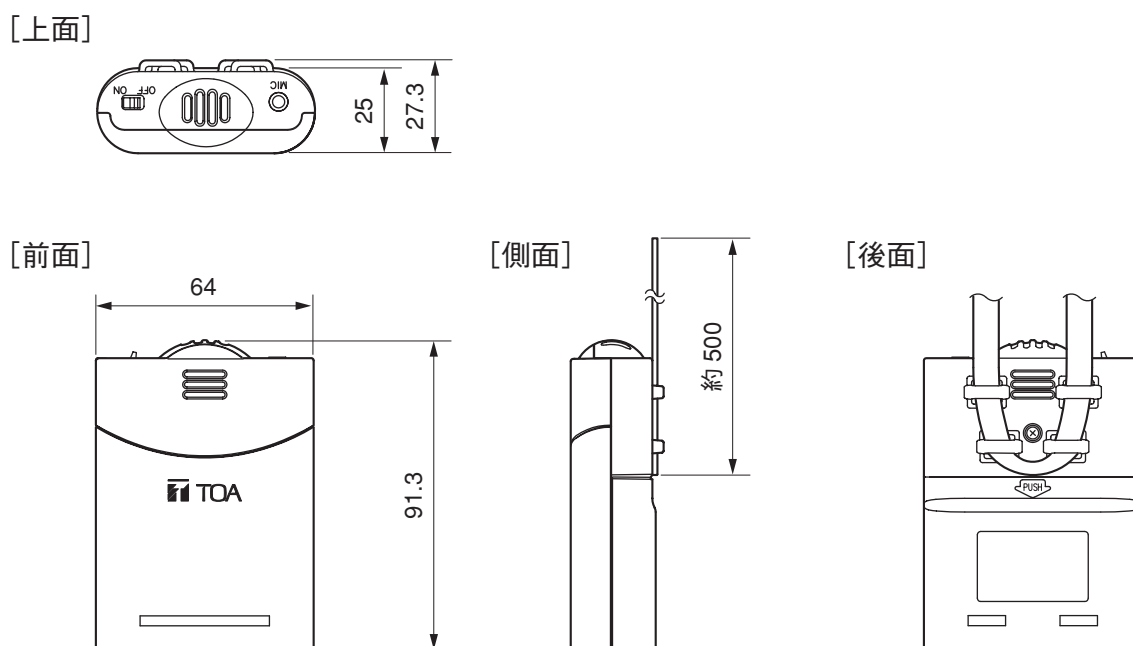
外觀寸法図

単位：mm

IR-200M



IR-300M



故障かな？と思ったら

症 状	確かめるところ	対処のしかた
電源スイッチを ON にしてもバッテリーチェッカーが点灯しない。	<充電電池を使用のとき> - 電池の極性は正しいですか？ - 専用の充電電池を使用していますか？ - 充電済みの電池を使用していますか？	- 電池を正しく入れ直してください。 - 赤外線マイク用充電電池 IR-200BT と交換してください。 - 赤外線マイク用充電器 IR-200BC で充電してください。
	<乾電池を使用のとき> - 電池の極性は正しいですか？ - 電池が消耗していませんか？	- 電池を正しく入れ直してください。 - 新しい電池と交換してください。
電源スイッチを ON にすると、バッテリーチェッカーが赤色に点灯する。	<乾電池を使用のとき> - 電池が消耗しています。 <充電電池を使用のとき> - 電池が放電しています。	- 新しい電池と交換してください。 - 赤外線マイク用充電器 IR-200BC で充電してください。
電源スイッチを ON にすると、バッテリーチェッカーが緑色と赤色に交互に点滅する。	チャンネルスイッチが、表示のない位置に設定されていませんか？	チャンネル設定を正しく行ってください。 (参照 P. 11 「チャンネルの設定のしかた」)
電源スイッチを ON にしても、赤外線チューナーの受信表示灯が点灯しない。(受信しない)	赤外線チューナーと同じチャンネルに設定されていますか？	赤外線マイクを赤外線チューナーと同じチャンネルに設定し直してください。
同時に使用している他の赤外線マイクと混信する。	他の赤外線マイクと異なるチャンネルに設定されていますか？	チャンネル設定を正しく行ってください。 (参照 P. 11 「チャンネルの設定のしかた」)
	赤外線マイクが赤外線受光器に近づき過ぎていませんか？	赤外線マイクを赤外線受光器から 50 cm 以上離して使用してください。

仕 様

品 番		IR-200M	IR-300M
使 用 電 池		赤外線マイク用充電電池* IR-200BT（2本）または 単3形アルカリ乾電池 LR6（2本）	
赤 外 線 発 光 部	波 長	870 nm（AM：輝度変調）	
	変 調 方 式	周波数変調	
	搬 送 波 周 波 数	チャンネルA：3.100 MHz チャンネルB：3.350 MHz チャンネル1：4.100 MHz チャンネル2：4.725 MHz チャンネル3：5.225 MHz チャンネル4：5.600 MHz	
	到 達 距 離	約20 m（パワー切換スイッチ：H、遮へい物のない空間の場合） 約15 m（パワー切換スイッチ：N、遮へい物のない空間の場合）	
ト ー ン 信 号		32.768 kHz	
変 調 感 度		±4.8 kHz（1 kHz、84 dB SPL 入力時）	
最 大 入 力 音 圧		120 dB SPL	
入 力 感 度 調 節		—	調節範囲：-9 dB ～ 0 dB（工場出荷時：0 dB）
使用マイクロホン		単一指向性エレクトレットコンデンサー型	
周 波 数 特 性		100 ～ 12,000 Hz	
プリアンパシス		300 μ s	
入 力		—	外部マイク入力端子（ ϕ 3.5 モノラルミニジャック）
電 池 持 続 時 間		約8時間（赤外線マイク用充電電池 IR-200BT 使用時、パワー切換スイッチ：N） 約6時間（アルカリ乾電池使用時、パワー切換スイッチ：N）	
使 用 温 度 範 囲		0 ～ +40 °C	
使 用 湿 度 範 囲		30 ～ 85% RH	
仕 上 げ		操作部：ABS樹脂、メタリックグレー、半艶、塗装 フィルター部：ポリカーボネート、可視光カットフィルター	
寸 法		ϕ 37 × 241.8（高さ）mm	64（幅）× 91.3（高さ）× 27.3（奥行）mm
質 量		170 g（アルカリ乾電池を含む） 185 g（専用の充電電池を含む）	130 g（アルカリ乾電池、ストラップを含む） 140 g（専用の充電電池、ストラップを含む）

* 充電電池は、本機専用の IR-200BT（別売の充電器 IR-200BC に付属）または別売の IR-200BT-2（2本入り）を使用してください。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品（IR-200M/300M 共通）

単3形アルカリ乾電池（LR6） 2
 設定用ドライバー 1
 カラーマーク（6色） 1

● 別売品

赤外線マイク用充電器：IR-200BC（充電電池 IR-200BT を4本付属）
 赤外線マイク用充電電池：IR-200BT-2（2本入り）



TOA お客様相談センター	
商品の内容・組み合わせ・取り扱い方法や修理に関するご相談にお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	フリーダイヤル 0120-108-117
	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)
	FAX 0570-017-108 (有料)
※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

133-07-244-0B